

大淀町道路施設長寿命化修繕計画

令和8年9月改訂

トンネル長寿命化修繕計画

(1) 計画対象施設

計画対象となるトンネルは、大淀町が令和7年3月現在で管理している1施設となります。

(2) 計画期間

中長期の計画では、更新費用を考えるためトンネルの寿命以上の年数を 50年間としています。

短期計画では、点検頻度やその他の道路施設の計画期間を考慮し、10年間の計画を策定しています。

(3) 優先度評価の考え方

計画では、限られた予算で効果的な対策を実施するため、健全度の低いものを最優先とし、更に周辺環境や路線の位置付け等を踏まえ、事業実施の際に町民の生活に与える影響の大きいトンネルから優先に補修を実施します。

(4) 個別施設の状態等

これまでの点検によって診断されたトンネルの健全性とトンネルの重要度が高く対策を優先的に進めるために必要な指標をまとめています。一覧は「(5) 対策内容と実施時期」に記載します。

(5) 対策内容を実施期間

今後の 10 年間で対策を実施するトンネルの対策内容と対策時期、対策費用を整理しています。また、(4) 個別施設の状態等で整理している対策の優先度を定める指標も記載しています。

表 個別施設の状態等、対策内容と対策時期

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
建設費の算入に関する調査項目										建設費の算入に関する調査項目																								建設費の算入に関する調査項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費		建設費	

(6) 対策費用

長寿命化修繕計画を実施することによる今後10年間の対策費用を整理しています。

表 短期事業計画費用

単位：(千円)

種別	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
設計費	6,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	19,300	0	0	0	0	0	0	0	0
点検費	4,000	0	0	0	0	4,000	0	0	0	0
合計	10,700	19,300	0	0	0	4,000	0	0	0	0
10年の合計									34,000千円	

(7) 今後のコスト縮減を基本とする維持管理体制

当該施設は、下表に示す方針で取り組みます。

下 表

集約化・撤去	集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理する施設は緊急輸送道路等の重要な路線のほか、山間部に位置しており、迂回路がない路線であること、隣接する迂回路を通行した場合、約5km（所要時間5分）を迂回することとなり、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難である。周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、再度検討を行う。
新技術等の活用	新技術（NETIS（新技術情報提供システム））の活用を重点的に検討し、令和10年度までの5年間で約0.5百万円のコスト縮減を目指します。

横断歩道橋 長寿命化修繕計画

(1) 計画対象施設

計画対象となる横断歩道橋は、大淀町が令和7年3月現在で管理している1施設となります。

(2) 計画期間

中長期の計画では、更新費用を考えるため横断歩道橋の寿命以上の年数を 50 年間としています。

短期計画では、点検頻度やその他の道路施設の計画期間を考慮し、10年間の計画を策定しています。

(3) 優先度評価の考え方

計画では、限られた予算で効果的な対策を実施するため、健全度の低いものを最優先とし、更に周辺環境や路線の位置付け等を踏まえ、事業実施の際に町民の生活に与える影響の大きい歩道橋から優先に補修を実施します。

(4) 個別施設の状態等

これまでの点検によって診断された横断歩道橋の健全性と横断歩道橋の重要度が高く対策を優先的に進めるために必要な指標をまとめています。一覧は「(5) 対策内容と実施時期」に記載します。

(5) 対策内容を実施期間

今後の 10 年間で対策を実施する横断歩道橋の対策内容と対策時期、対策費用を整理しています。また、(4) 個別施設の状態等で整理している対策の優先度を定める指標も記載しています。

表 個別施設の状態等、対策内容と対策時期

[illegible]

（６）対策費用

長寿命化修繕計画を実施することによる今後１０年間の対策費用を整理しています。

表 短期事業計画費用

単位：（千円）

種別	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	６年目	７年目	８年目	９年目	１０年目
設計費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
修繕費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
点検費	〇	〇	〇	2,000	〇	〇	〇	2,000	〇	〇
合計	〇	〇	〇	2,000	〇	〇	〇	2,000	〇	〇
10年の合計									4,000千円	

（７）今後のコスト縮減を基本とする維持管理体制

当該施設は、下表に示す方針で取り組みます。

下 表

集約化・撤去	住民の生活に必要不可欠な施設であるため、現状は集約・撤去を不可能である。しかし、交通状況や地域の意向、利用者の状況を鑑みて、集約化が可能な場合、将来の維持管理と修繕にかかる費用の削減を目指します。上記を踏まえ、2035年までの10年間に50万円のコスト縮減を目指します。
新技術等の活用	新技術（NETIS（新技術情報提供システム））の活用を重点的に検討し、令和10年度までの5年間で約0.5百万円のコスト縮減を目指します。

大型カルバート 長寿命化修繕計画

(1) 計画対象施設

計画対象となる大型カルバートは、大淀町が令和7年3月現在で管理している1施設となります。

(2) 計画期間

中長期の計画では、更新費用を考えるため大型カルバートの寿命以上の年数を 50年間としています。

短期計画では、点検頻度やその他の道路施設の計画期間を考慮し、10年間の計画を策定しています。

(3) 優先度評価の考え方

計画では、限られた予算で効果的な対策を実施するため、健全度の低いものを最優先とし、更に周辺環境や路線の位置付け等を踏まえ、事業実施の際に町民の生活に与える影響の大きい大型カルバートから優先に補修を実施します。

(4) 個別施設の状態等

これまでの点検によって診断された大型カルバートの健全性と大型カルバートの重要度が高く対策を優先的に進めるために必要な指標をまとめています。一覧は「(5) 対策内容と実施時期」に記載します。

(5) 対策内容を実施期間

今後の10年間で対策を実施する大型カルバートの対策内容と対策時期、対策費用を整理しています。また、(4)個別施設の状態等で整理している対策の優先度を定める指標も記載しています。

表 個別施設の状態等、対策内容と対策時期

橋梁の健全に関する調査項目										点検計画																												点検点検記録										修繕計画										修繕内容	概算 修繕金額 (百万円)
施設名		路線		架設年度			所在地			点検計画										点検点検記録		修繕計画																																					
道路橋名	(7桁*)	路線名	道路種別 ・道路橋 ・高速自 動車道 ・一般国 道(指定区 間) ・一般国 道(指定区 間外) ・都道府 県道 ・市町村	架設年度 (西暦4桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	緯度	経度	管理者名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	年度	点検実施年 度 区分	判定 区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	修繕内容	概算 修繕金額 (百万円)																									
										R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																											
道路橋名	(7桁*)	路線名	道路種別	架設年度(西暦4 桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	緯度	経度	管理者名	R1024	R1025	R1026	R1027	R1028	R1029	R1030	R1031	R1032	R1033	R1034	R1035	点検実施年度	判定区分	修繕R1	修繕R2	修繕R3	修繕R4	修繕R5	修繕R6	修繕R7	修繕R8	修繕R9	修繕R10	修繕内容	概算修繕 額																								
関水道路 カルバート	201412730	新潟県道第72号線	市町村道	2009	24	6.4	34.404188度	135.762310度	大波町													2017	2											修繕R10 道路R10																									

(6) 対策費用

長寿命化修繕計画を実施することによる今後10年間の対策費用を整理しています。

表 短期事業計画費用

単位：(千円)

種別	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
設計費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点検費	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000	0
合計	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000	0
10年の合計									4,000千円	

(7) 今後のコスト縮減を基本とする維持管理体制

当該施設は、下表に示す方針で取り組みます。

下 表

集約化・撤去	住民の生活に必要不可欠な施設であるため、現状は集約・撤去を不可能である。しかし、交通状況や地域の意向、利用者の状況を鑑みて、集約化が可能な場合、将来の維持管理と修繕にかかる費用の削減を目指します。上記を踏まえ、2035年までの10年間に50万円のコスト縮減を目指します。
新技術等の活用	新技術（NETIS（新技術情報提供システム））の活用を重点的に検討し、令和10年度までの5年間で約0.5百万円のコスト縮減を目指します。